



MSD22-58002/3

シグネチャーイルミブレード

取付・取扱要領書

この度はモデリスタシグネチャーイルミブレードをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

●本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MSD22-58002	ブラック	ヴェルファイア '23.5~	
MSD22-58003	ダークグレーメタリック		

・最新の適合情報はMODELLISTAカタログサイトをご覧ください。 <https://www.modellista.co.jp/>

本製品とフロントグリルキット、フロントスポイラーを同時装着する場合は、
フロントグリルキット、本製品、フロントスポイラーの順に取り付けてください。

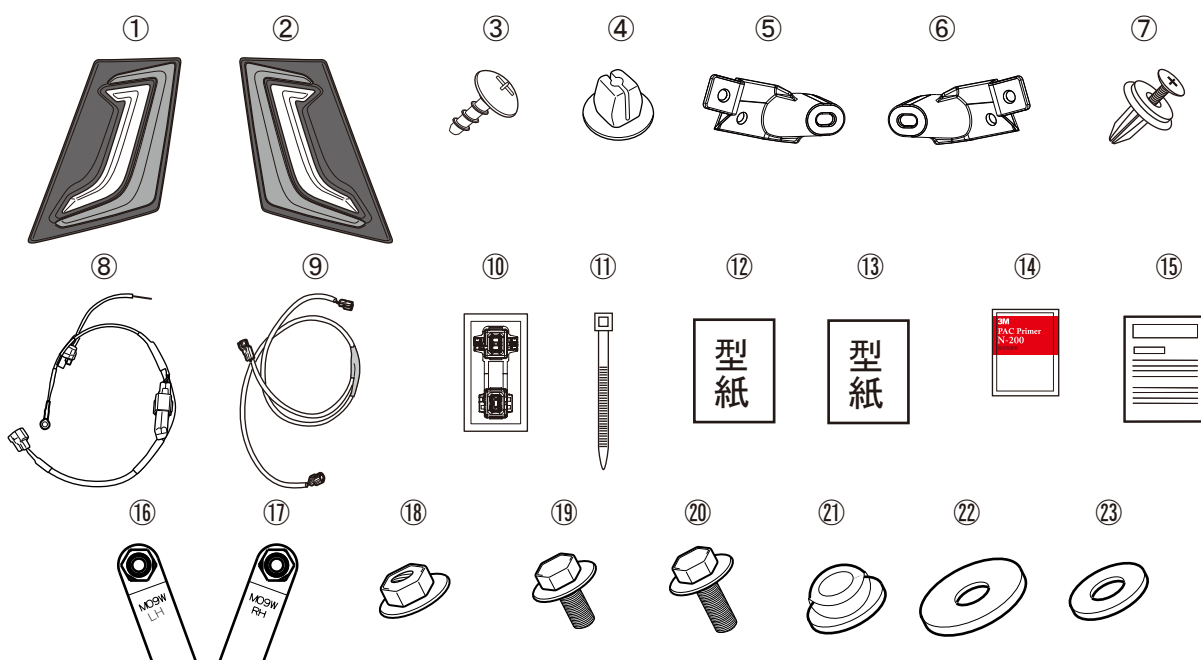


■ 構成部品

No.	部品名	品番	数量	備考
①	シグネチャーイルミブレードLH		1	
②	シグネチャーイルミブレードRH		1	
③	タッピングスクリュー		8	
④	グロメット		8	
⑤	配線留めパーツLH		1	
⑥	配線留めパーツRH		1	
⑦	スクリベット		4	
⑧	電源ハーネス		1	
⑨	中間ハーネス		1	
⑩	エレクトロタップ		1	
⑪	結束バンド		23	150mm (2本予備)
⑫	型紙 L		1	
⑬	型紙 R		1	
⑭	PACプライマー		1	N-200 品番 : 08867-00220
⑮	取付・取扱要領書		1	本書
⑯	ブラケット RH		1	
⑰	ブラケット LH		1	
⑱	フランジナット	90178-08023	4	M8用
⑲	フランジボルト	91551-A0818	4	M8×18
⑳	フランジボルト	90105-08504	2	M8×23
㉑	スペーサー		2	d8.5 D18.0 t4.5
㉒	ワッシャーA		2	d8.5 D28.0 t1.6
㉓	ワッシャーB		4	d8.5 D18.0 t1.6

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行なっていただくこと

警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

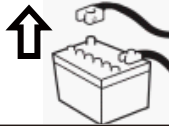
- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などがかからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

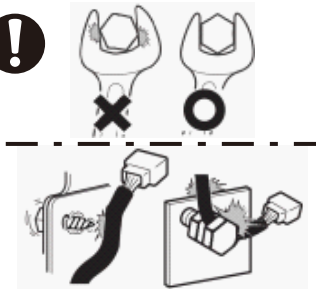
シグネチャーイルミブレード配線取り付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
取り付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。
- ❗ エンジンルーム内、ラジエターキャップ付近に配線を通したり部品を取り付ける際、腕等がラジエターキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエターキャップが緩んだことに気づけない場合があります。
ラジエターキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。
ラジエターキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。



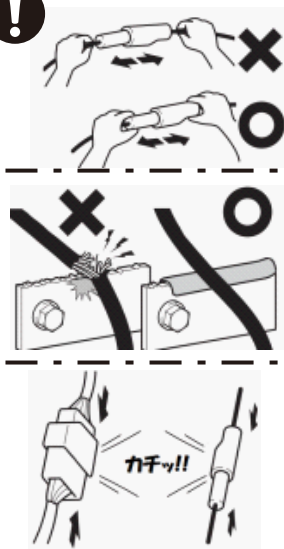
取り付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊙側ケーブルをはずす。



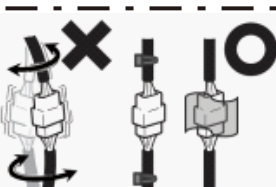
部品を取り付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。
- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

- ・コネクタは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。
- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。
- ・コネクタは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理な力で引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がないように、確実に固定する。

⚠ 注意



- ・バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～2
2. 取り付け上のご注意（取り付け業者の方へ） 3
3. シグネチャーイルミグリル配線取り付け上の注意事項 4
4. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 5
5. 取付準備、取付要領 6～17
6. 取付完了後の点検・注意事項 18
7. 配線図 18

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具
- ・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・ニッパー・保護メガネ
- ・電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/8.0mm/10.0mm）
- ・エアソーまたは超音波カッター（バンパーカット用）
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

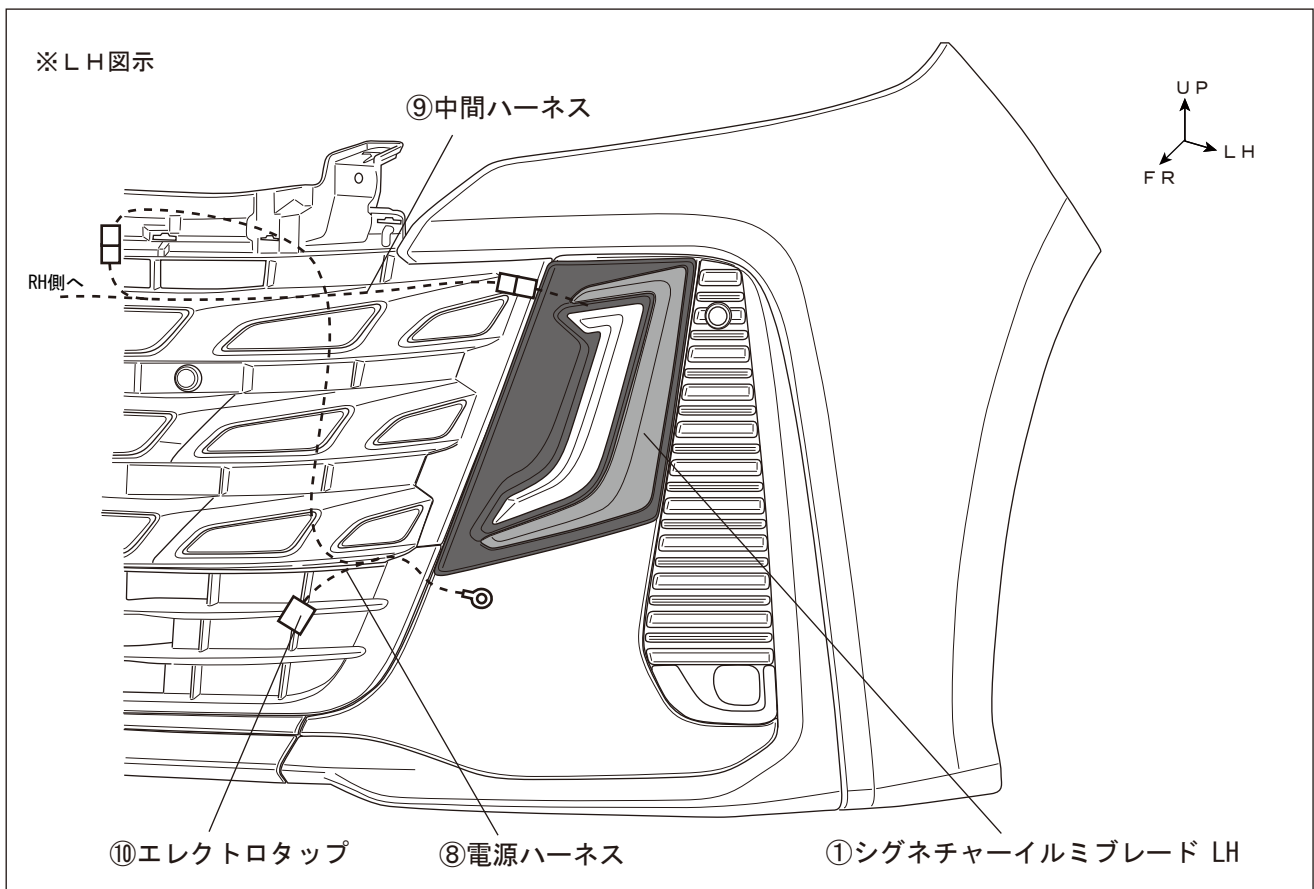
本商品は 1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



■ 取付準備、取付要領

【車両部品の取り外し作業→補強用部品の取り付け】

1. バッテリーのマイナス端子を取り外す。
2. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを取りはずす。

△注意：取り外した車両部品、車両スクリュー、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

△注意・本製品とフロントグリルキット、フロントスポイラーを同時装着する場合は、フロントグリルキット、本製品、フロントスポイラーの順に取り付けてください。

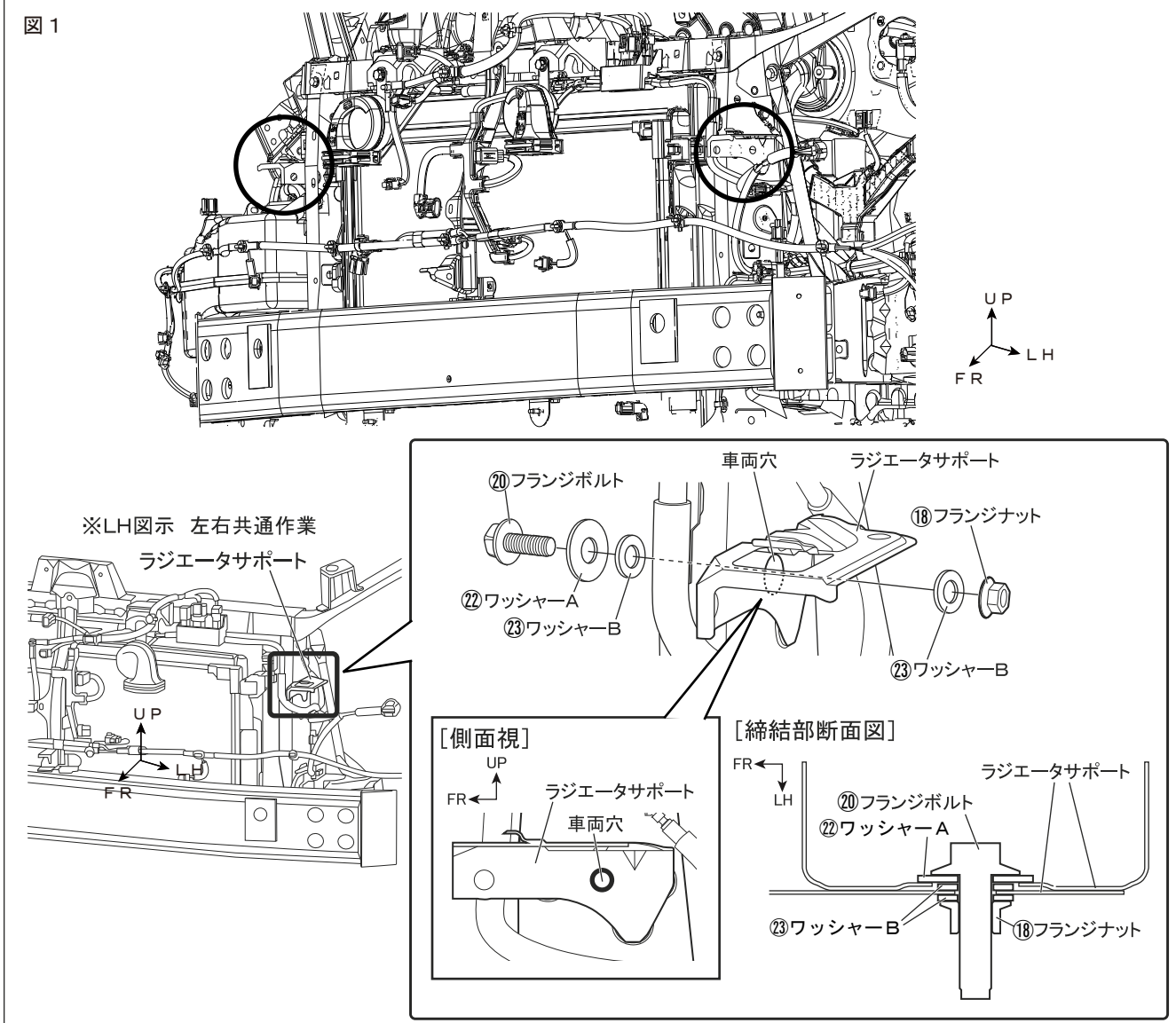
【重要】ラジエーターキャップのゆるみに注意してください。

□補強部品取付要領

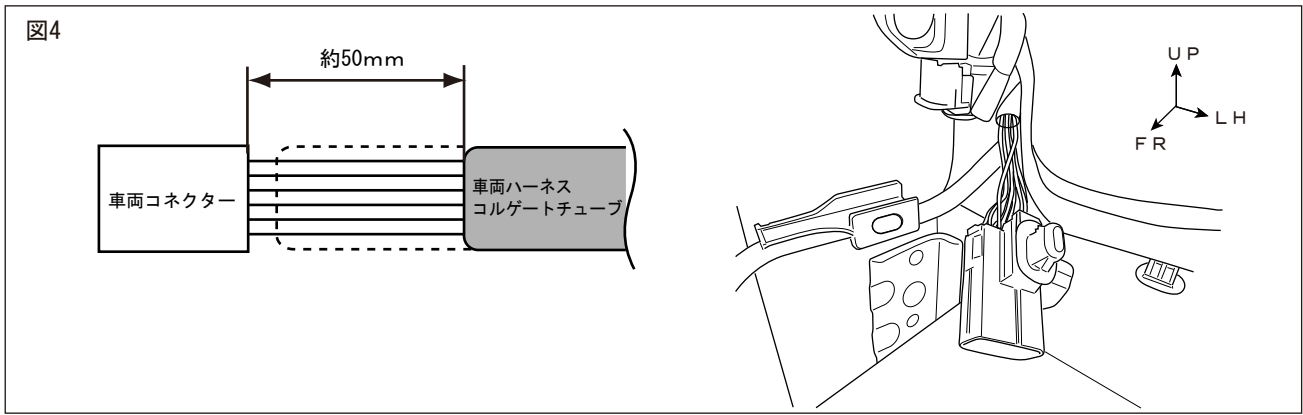
1. 該当車両の修理書に従い、車両から左右のヘッドライトを取りはずす。

△注意：取りはずした車両部品は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

図 1

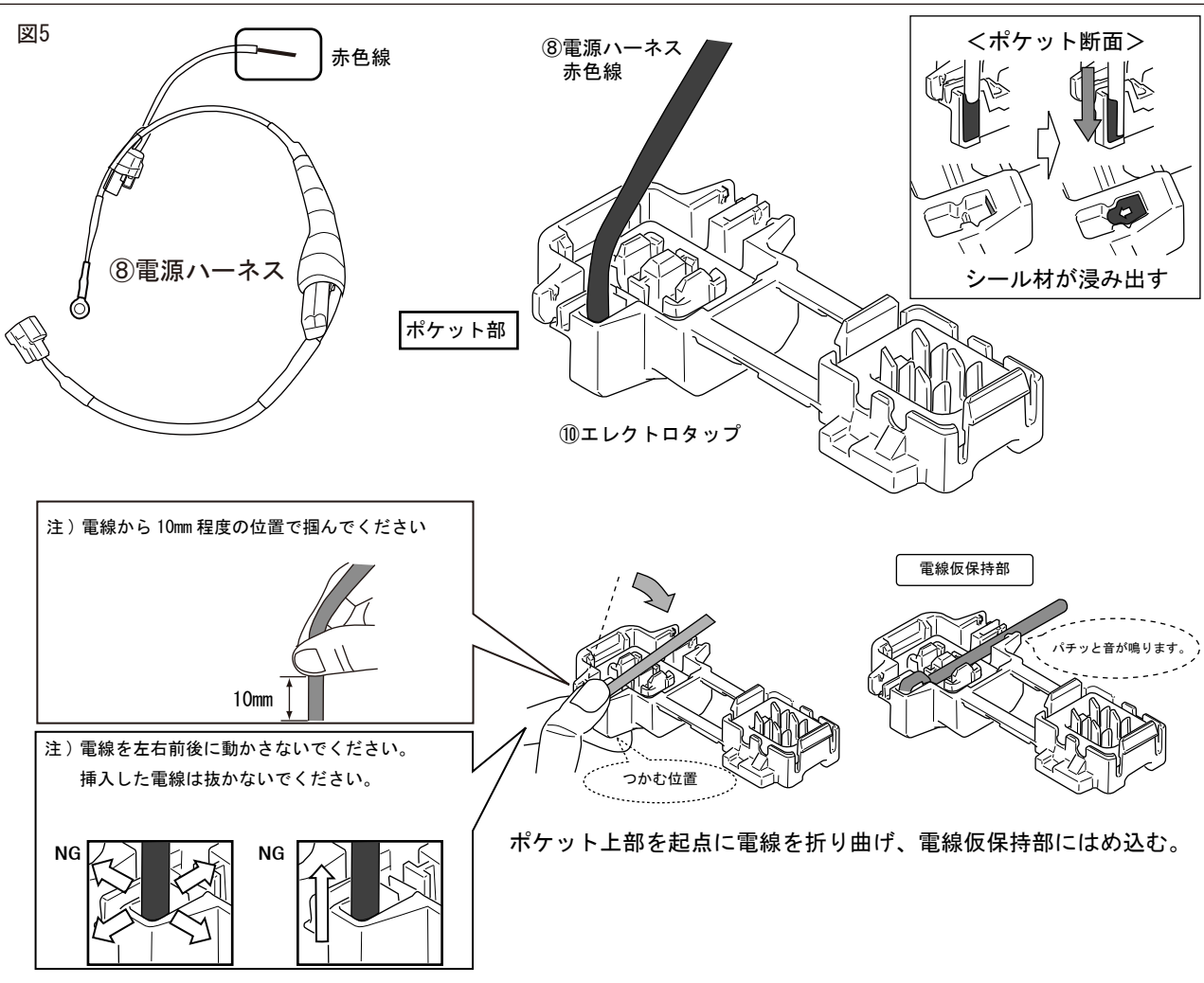


2. 図1のようにラジエーターサポートの車両穴に⑳フランジボルト、㉒ワッシャーA、㉓ワッシャーB、㉑フランジナットを仮締めする。(左右各1箇所)

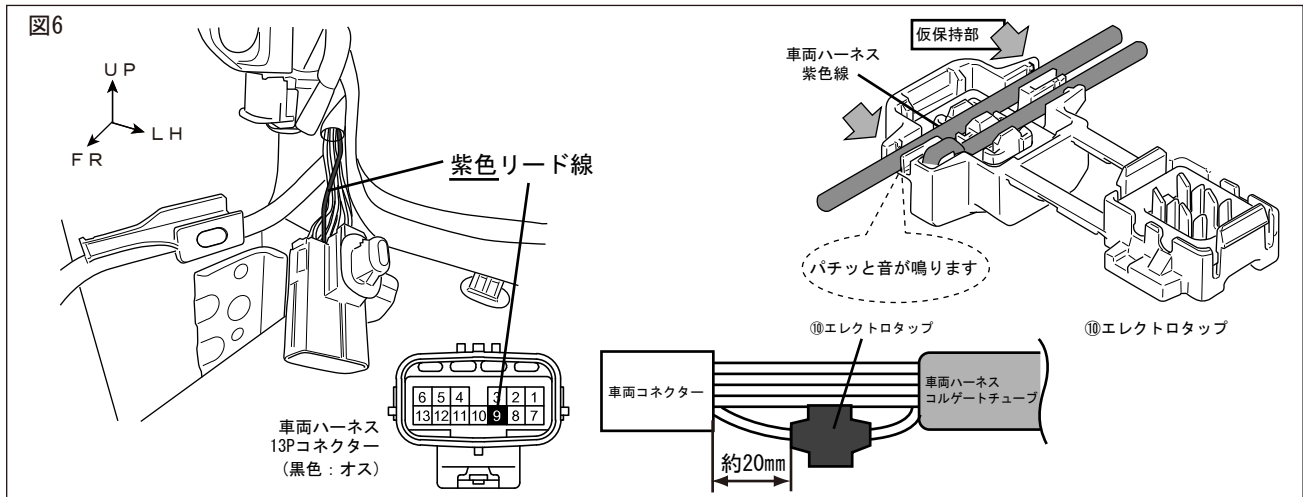


4. 図4を参照に取り外したコネクタのハーネスのコレートチューブをコネクタより50mmのところまでカットする。

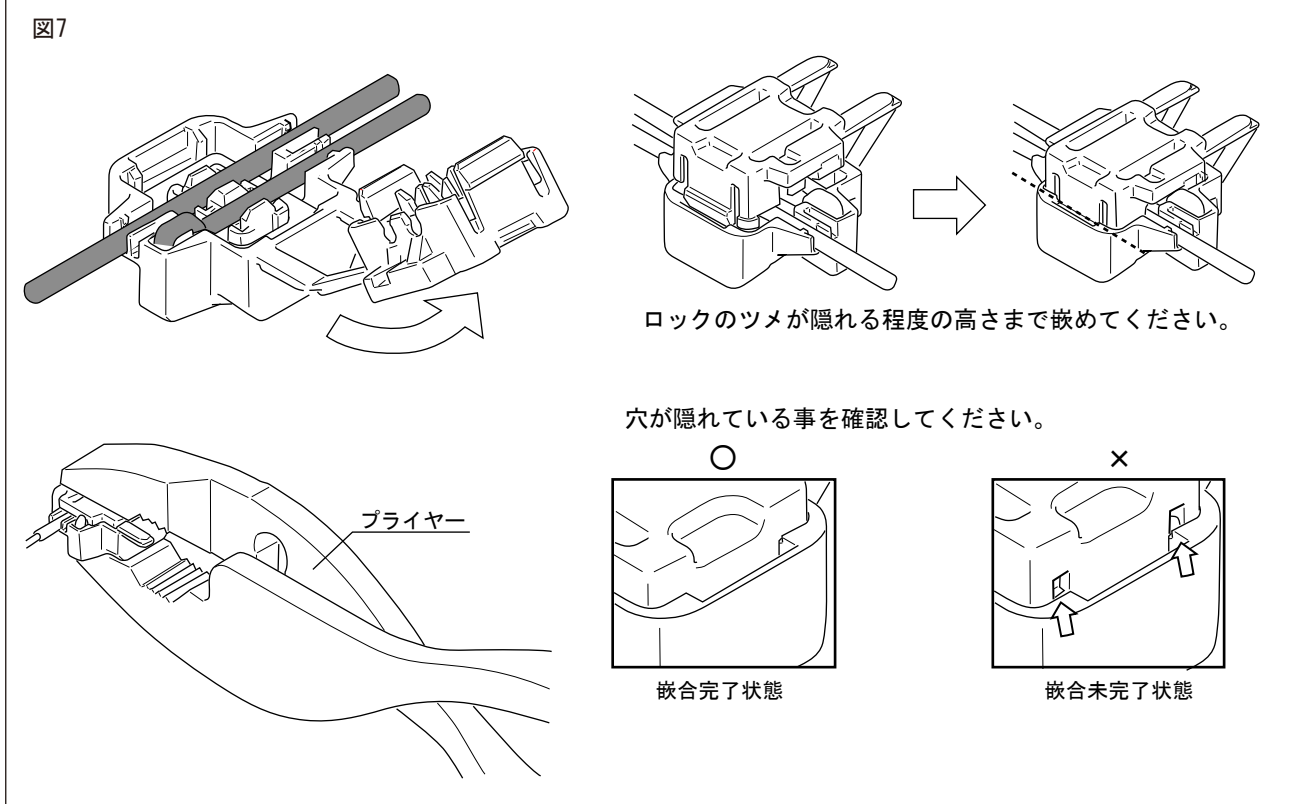
△注意：カットする際、配線を切らないように注意してください。



5. 図5を参照し、⑧電源ハーネスの赤色リード線を⑩エレクトロタップのポケット部に差し込み⑩エレクトロタップの仮保持部へはめ込む。



6. 車両ハーネス「紫色線」をもう一对の⑩エレクトロタップ仮保持部に押し込み、電線を保持する。
 ⑦エレクトロタップは車両コネクタより約20mmのところに設置する。

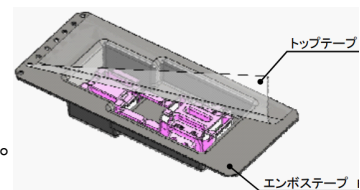


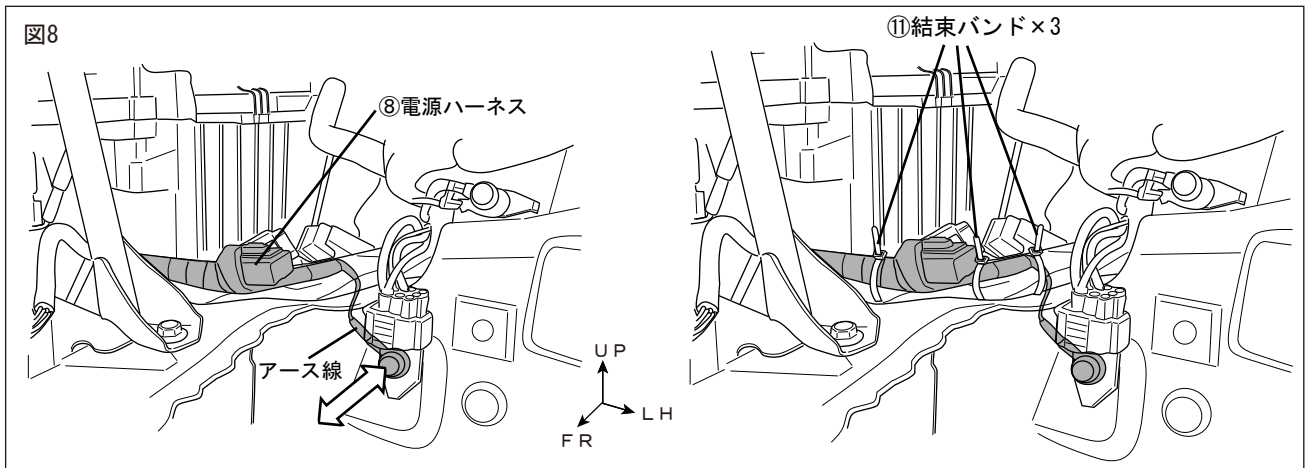
7. 図7を参照し、はめ合わせた⑩エレクトロタップをプライヤーで挟み、本止めする。

△注意：注意事項を確認し、確実に本止めされていること確認してください。

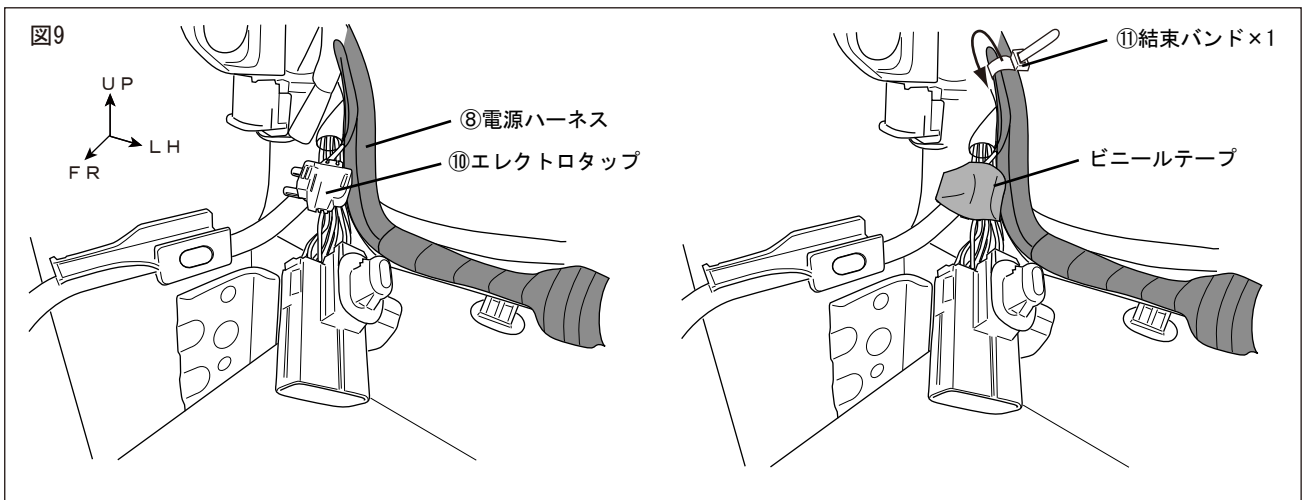
その他 ⑩エレクトロタップ使用上の注意点

- ・ トップテープを剥がした状態で、放置をしないでください。
防水機能が損なわれる場合があります
- ・ コネクタの防水機構として、コネクタ嵌合部にシール材を設けています。
- ・ 嵌合部に砂塵、異物などが入らないようご注意ください。
防水性が損なわれる恐れがあります。
- ・ 嵌合部に針金や先端が細い工具などを入れないようにしてください。
コネクタが嵌合できなくなる、接触不具合の恐れがあります。
- ・ シール材及びターミナルには触れないでください。

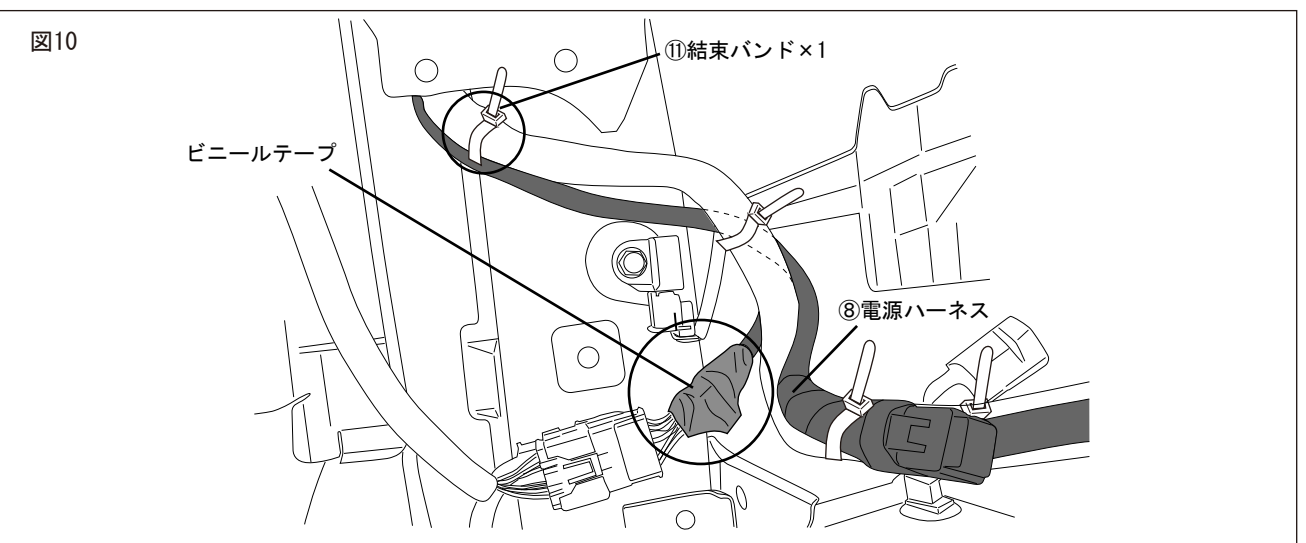




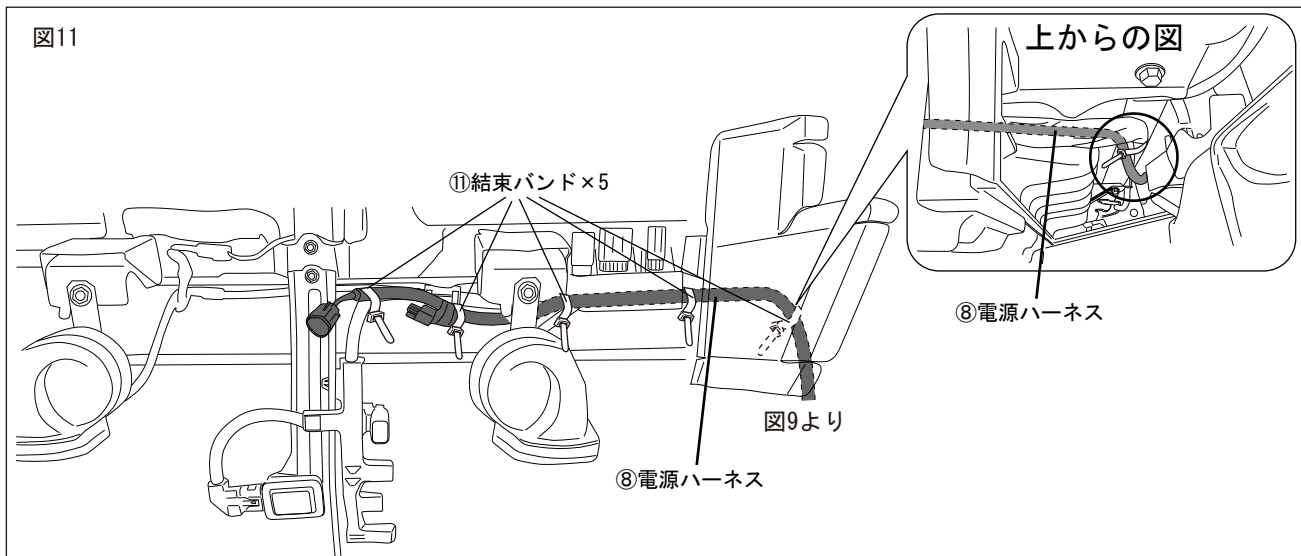
8. 図8のように⑧電源ハーネスを車両ハーネスに沿わせて配置し、図のアースボルト部に共締めする。アース線設置後、図のように車両ハーネスと⑧電源ハーネスを⑪結束バンドにて仮固定する。(3箇所)



9. ⑩エレクトロタップ部にビニールテープを巻きつけ、図9のように⑧電源ハーネス赤色線部を⑪結束バンドにて仮固定する。(1箇所)



10. 図10のように⑧電源ハーネスを車両ハーネスに沿って配置し⑪結束バンドで仮固定する。(1箇所)
⑩エレクトロタップ部とむき出しのリード線をビニールテープにて束ねる。
その後車両コネクタを復元する。



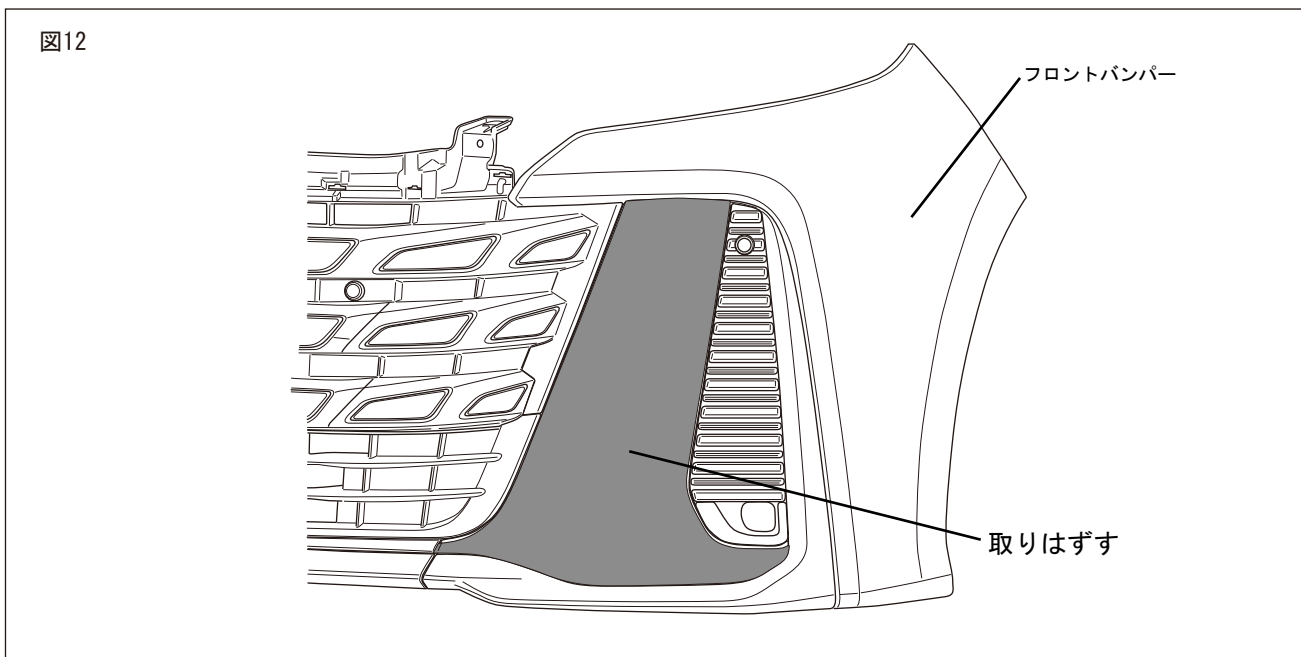
【重要】ラジエターキャップのゆるみに注意してください。

11. 図11のように⑧電源ハーネスを車両ハーネス沿いに配置し⑪結束バンドにて仮固定する。(5箇所)
12. ⑧電源ハーネスの余長を調整し、全ての⑪結束バンドを本締め後 ⑪結束バンドの余長をカットする。

□シグネチャーイルミブレード取付準備

【フロントバンパーカット・穴あけ】

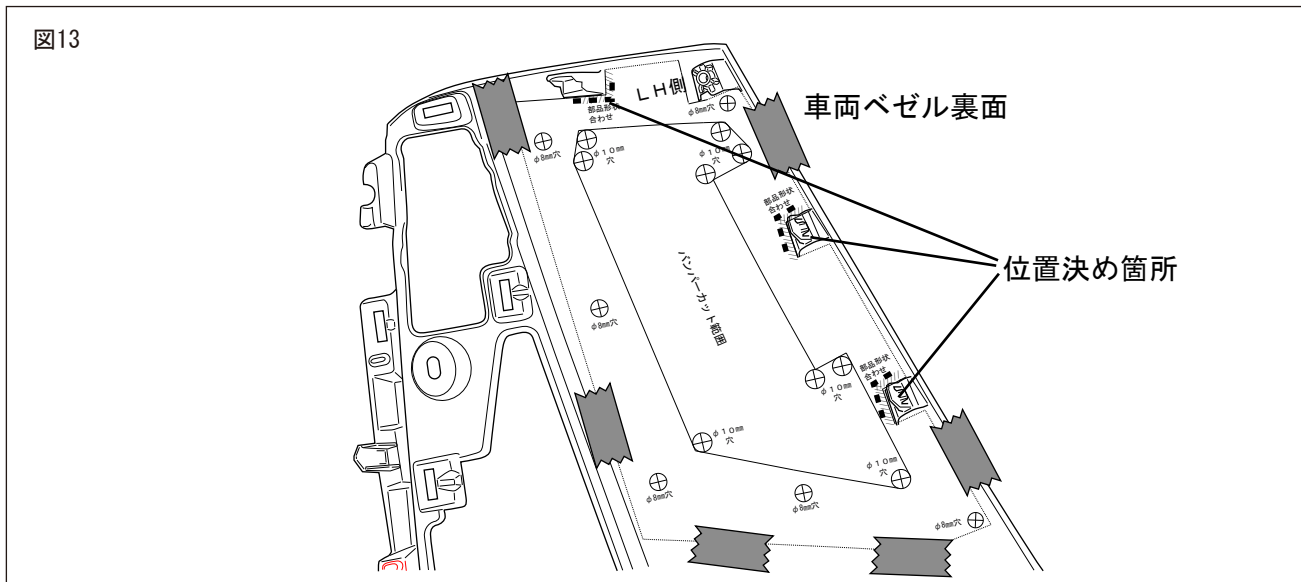
※以降 図はLH側を示しており、RH側も同様に作業を行ってください。



1. フロントバンパーの車両ベゼル部品を取りはずす。

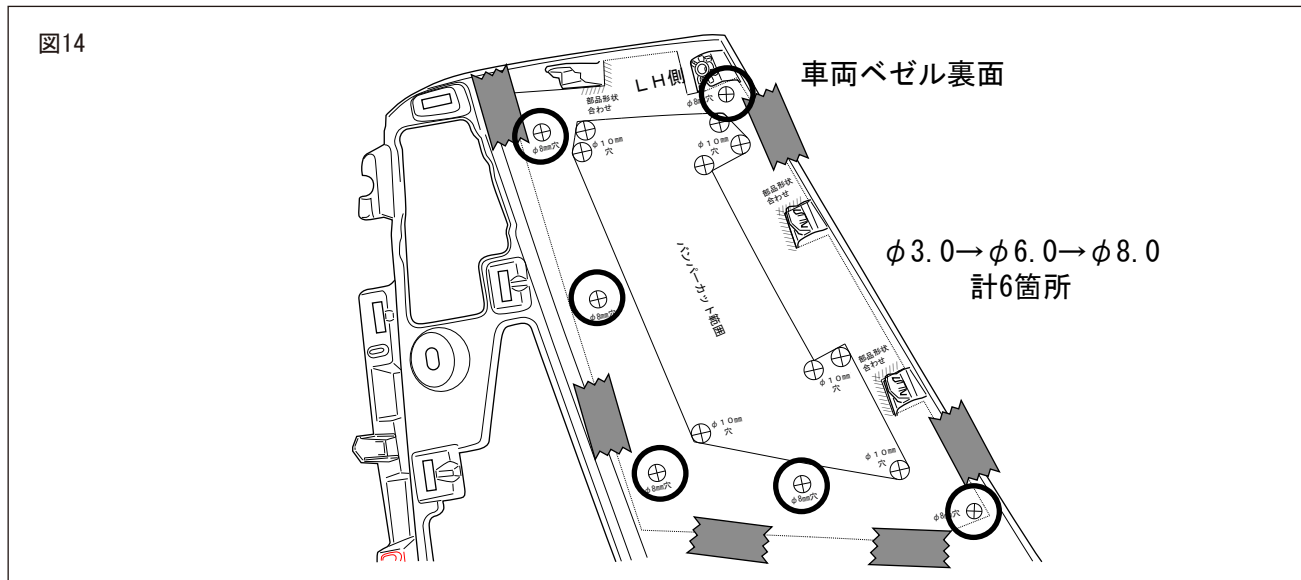
△注意：取りはずした車両部品、車両スクリュー、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

図13



2. ⑫⑬型紙を外形線に沿って切り取り、車両ベゼル裏に合わせ、位置決め部を合わせた後マスキングテープで固定する。

図14



3. ⑫⑬型紙記載のφ8穴部 計6箇所の穴中心に下穴をあけφ3.0→φ6.0→φ8.0の順に穴あけを行う。



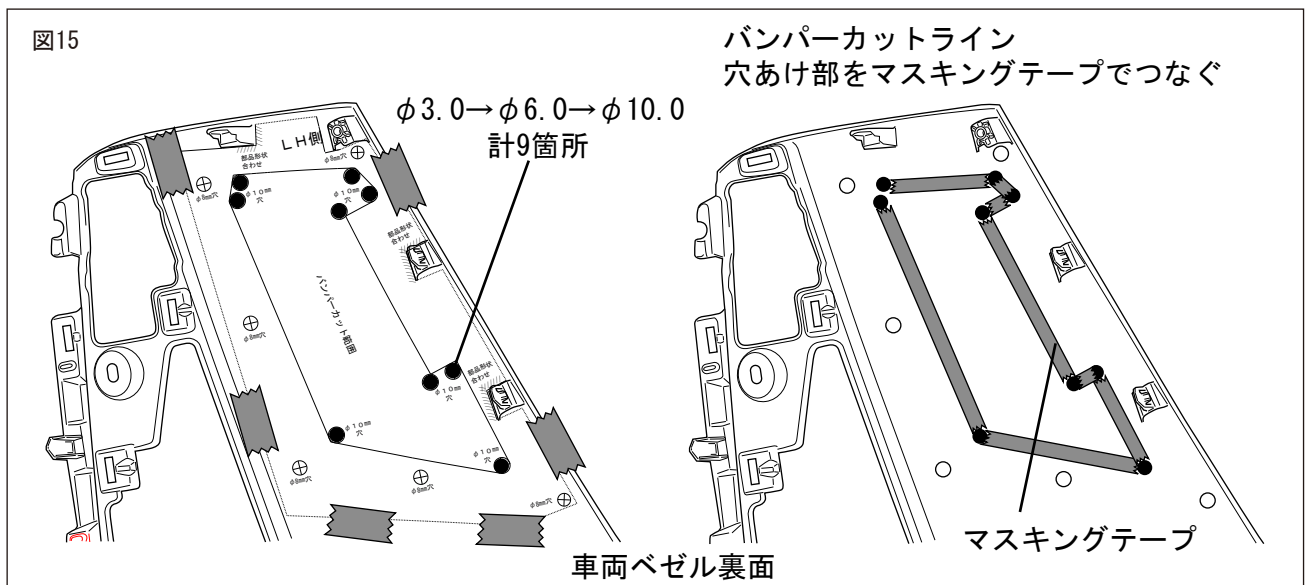
アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。



アドバイス：穴あけ後、穴周囲のバリを除去してください。



注意：穴あけ作業時は保護メガネを着用してください。

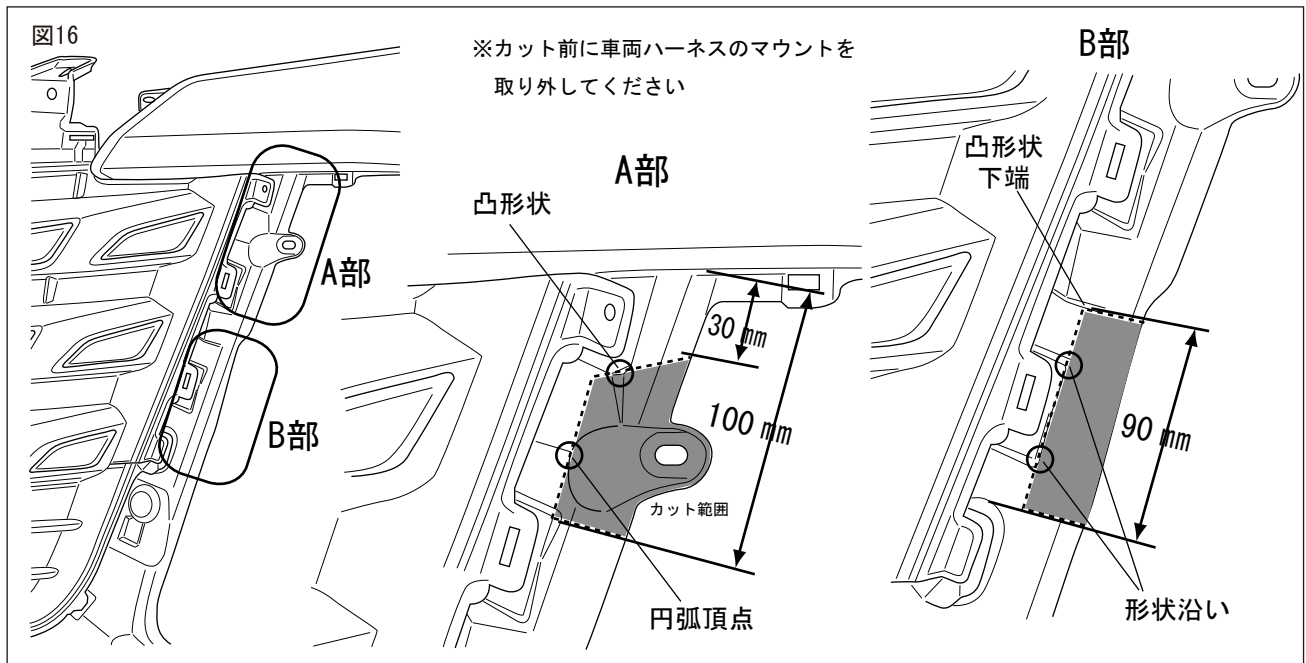


4. ⑫⑬型紙記載の $\phi 10$ 穴部 計9箇所の穴中心に下穴をあけ $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0 \rightarrow \phi 10.0$ の順に穴あけを行う。穴あけ後、穴をつなぐようにして型紙のラインを参考にマスキングテープを貼り付け、範囲内をカットする。

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

👉 アドバイス：バンパーカット後、外周のバリを除去してください。

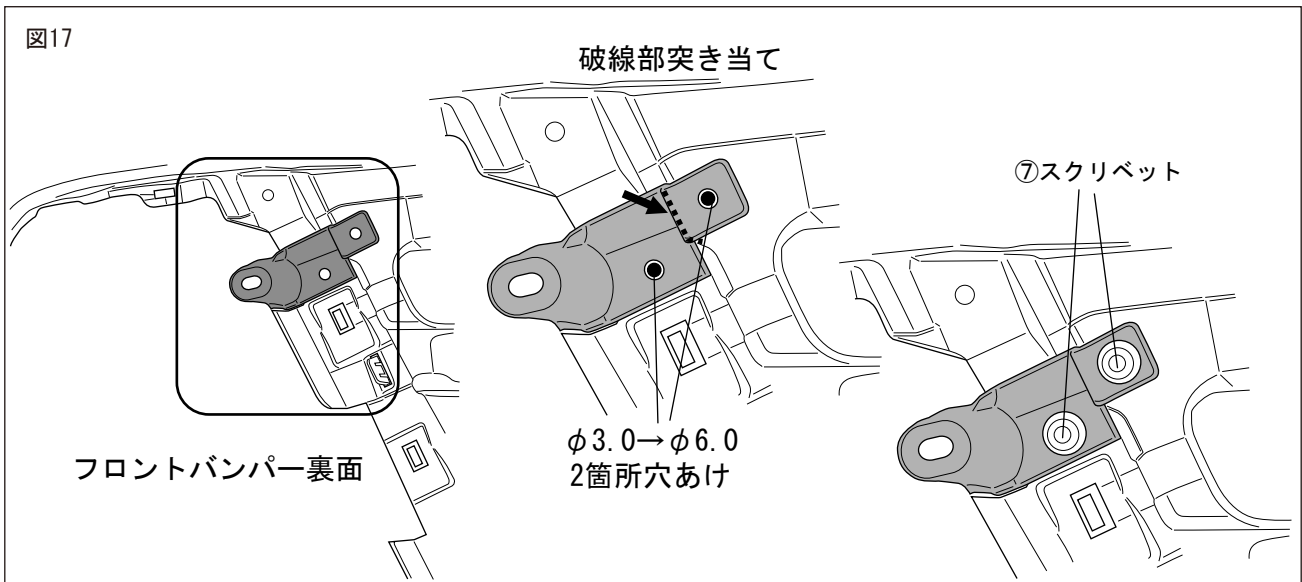
⚠️ 注意：穴あけ・バンパーカット作業時は保護メガネを着用してください。



5. 図16を参照し、バンパーカットを行う。

👉 アドバイス：バンパーカット後、外周のバリを除去してください。

⚠️ 注意：穴あけ・バンパーカット作業時は保護メガネを着用してください。

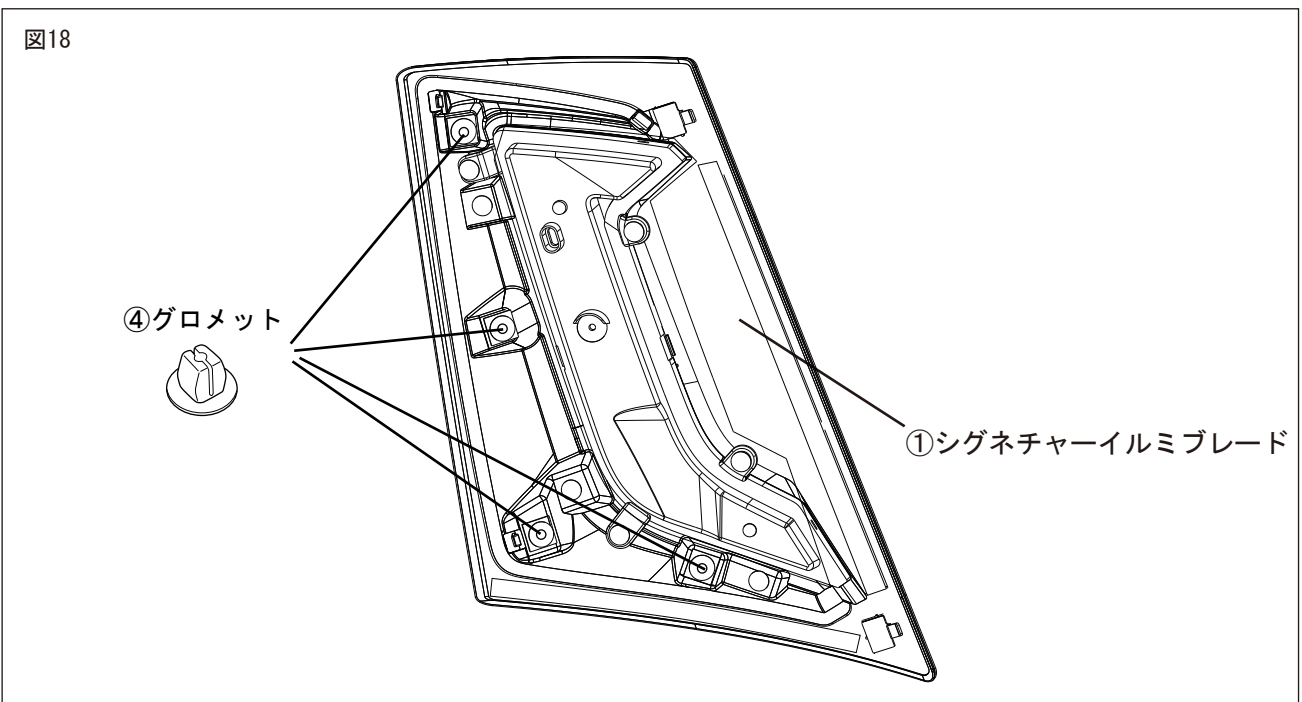


6. バンパーカットを行ったA部の裏に⑤⑥配線留めパーツを図17を参照しあてがい、穴2箇所マーキングを行った後、φ3.0→φ6.0の順に穴をあける。穴あけ後、⑦スクリベットにて⑤⑥配線留めパーツを固定する。

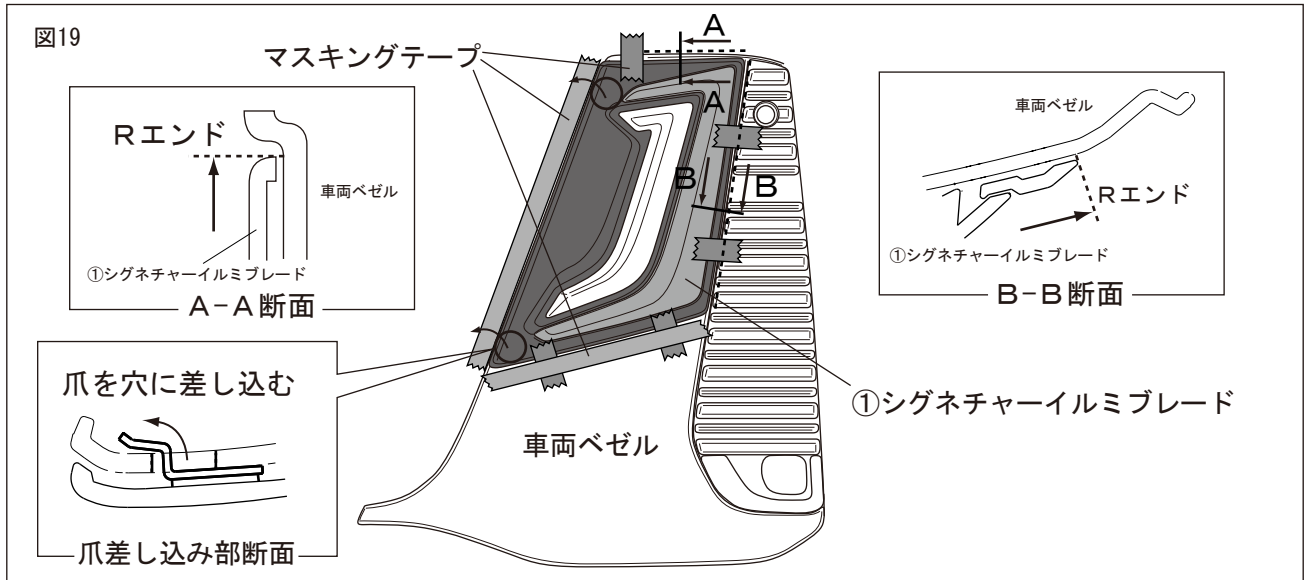
👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

□シグネチャーイルミブレード取付要領

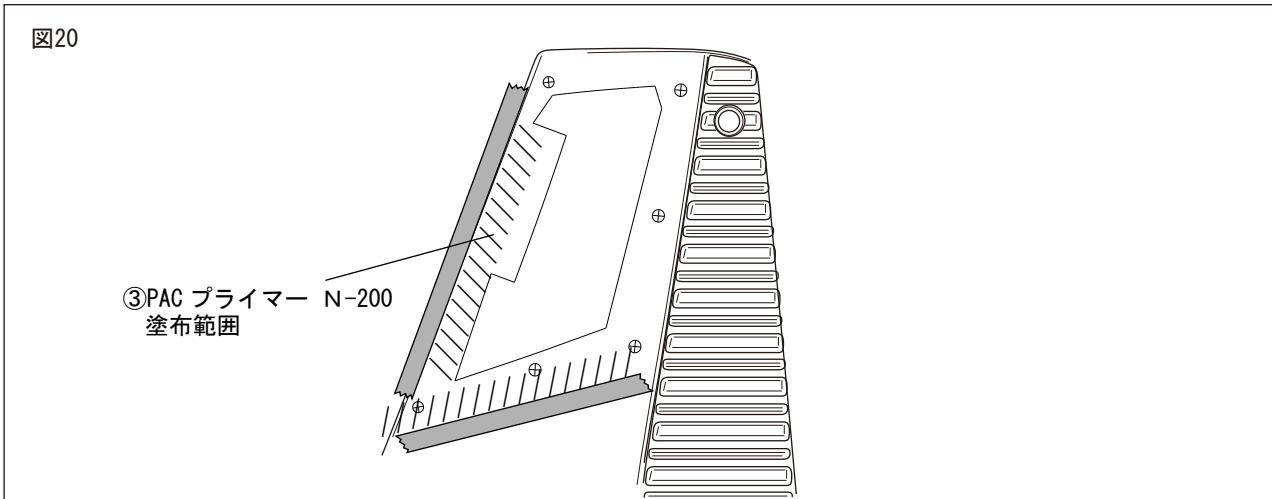
※以降 図はLH側を示しており、RH側も同様に作業を行ってください。



1. ①シグネチャーイルミブレードの裏面口穴4箇所に④グロメットを差し込む。

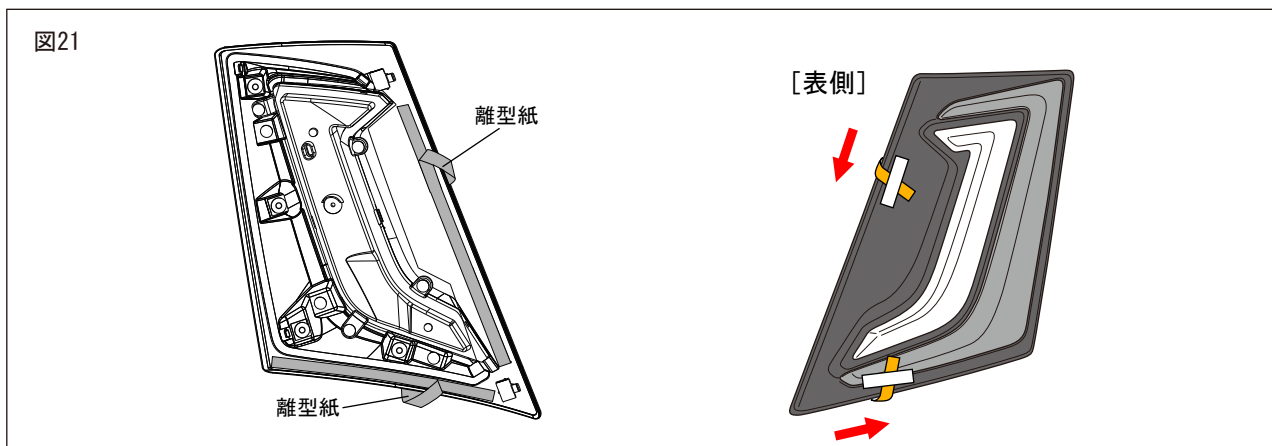


- ①シグネチャーイルミブレードを車両ベゼル単体に、爪2箇所を差し込みながらあてがい図19のように取り付け位置決めを行った後、マスキングテープで仮固定する。
- 車両内側・下側を、製品外周に沿ってマスキングテープを貼り付ける。

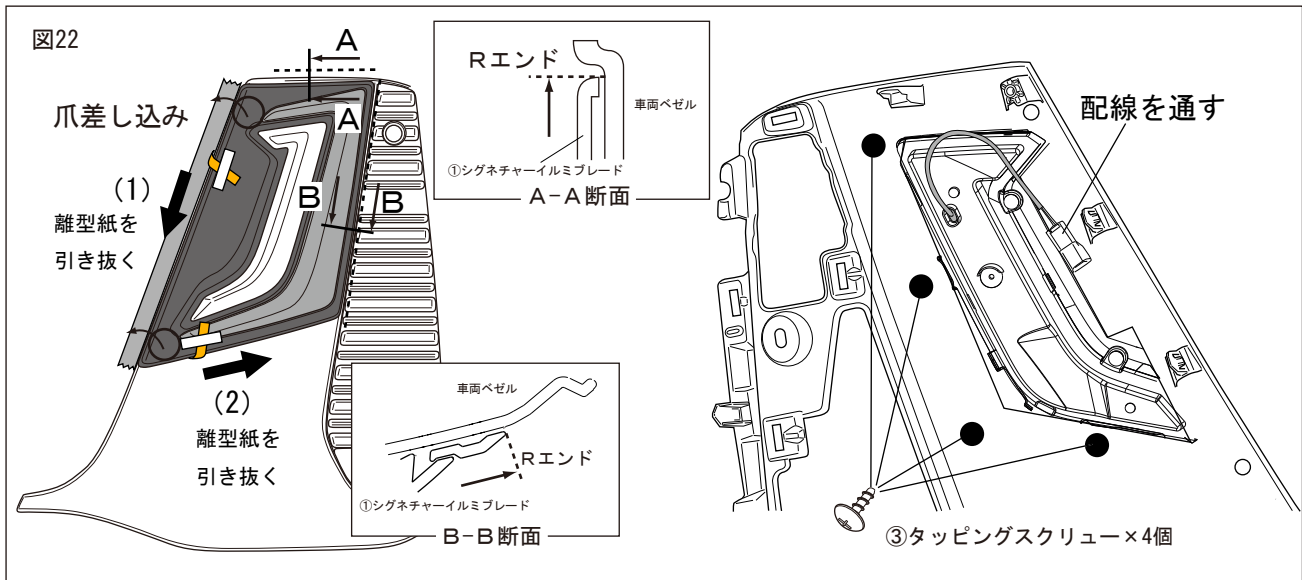


- 図20を参照し①シグネチャーイルミブレードの両面テープ貼り付け部（上図斜線部）に⑭PACプライマー N-200を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

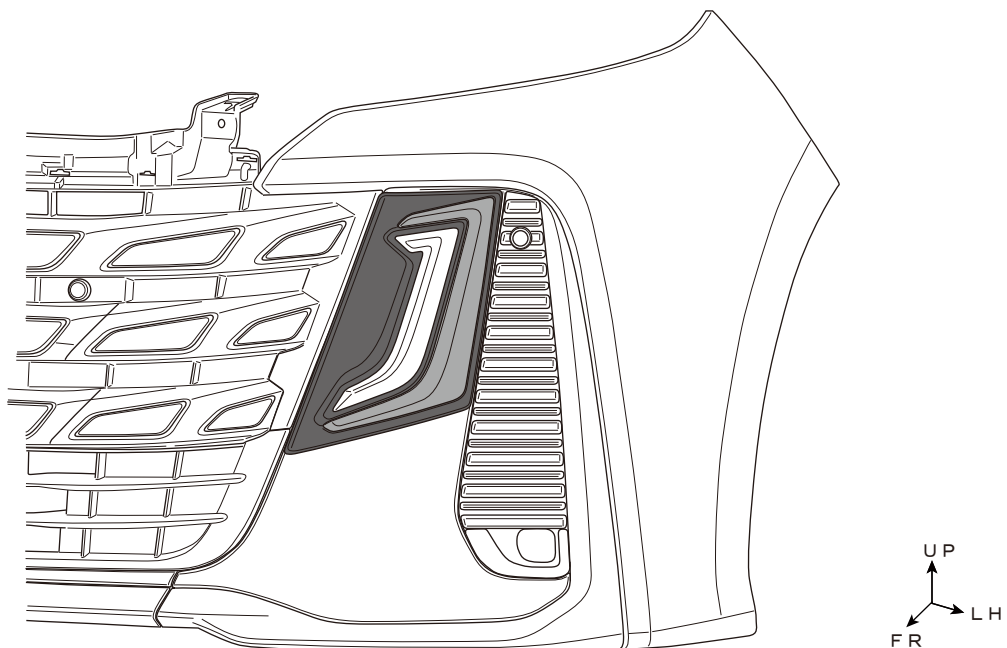


- 図21のように①シグネチャーイルミブレードの両面テープ離型紙を矢印の方向に剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（2箇所）



6. ①シグネチャーイルミブレードを車両ベゼル単体に、爪2箇所を差し込みながらあてがい
図22のように取り付け位置決めを行った後、両面テープ離型紙を(1)(2)の順に引き抜き
両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。
7. 裏面穴あけ部を③タッピングスクリューにて固定する。

図23



8. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを復元する。(車両には取り付けない)
9. ①シグネチャーイルミブレードの取り付け状態を確認し、両面テープ貼り付け部を再圧着する



アドバイス

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、
掛からないようにオープンタイム(静止時間)お取りください。



警告

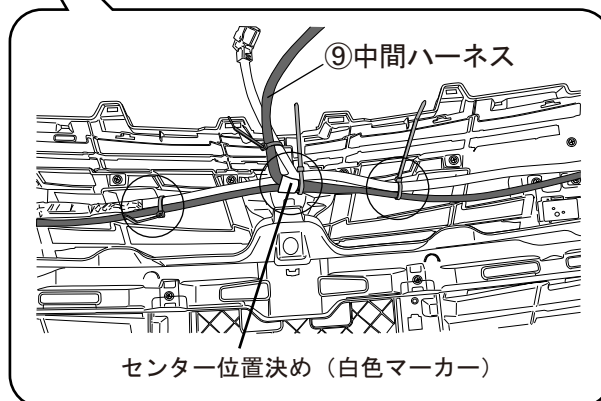
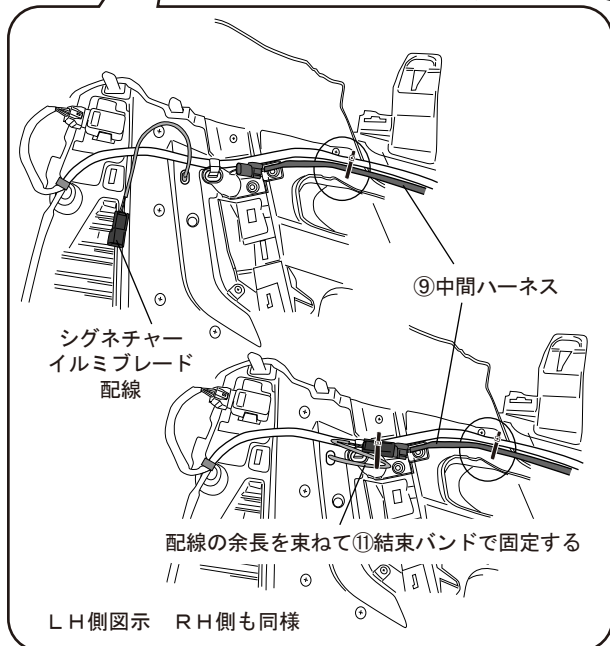
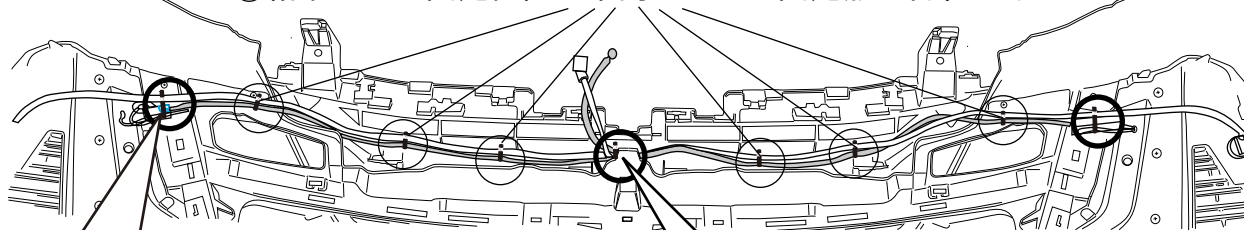
両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し
脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

□フロントバンパー側ハーネスの配策作業

図24

車両ハーネスに沿わせて配策

⑪結束バンド固定位置は車両ハーネス固定点に合わせる

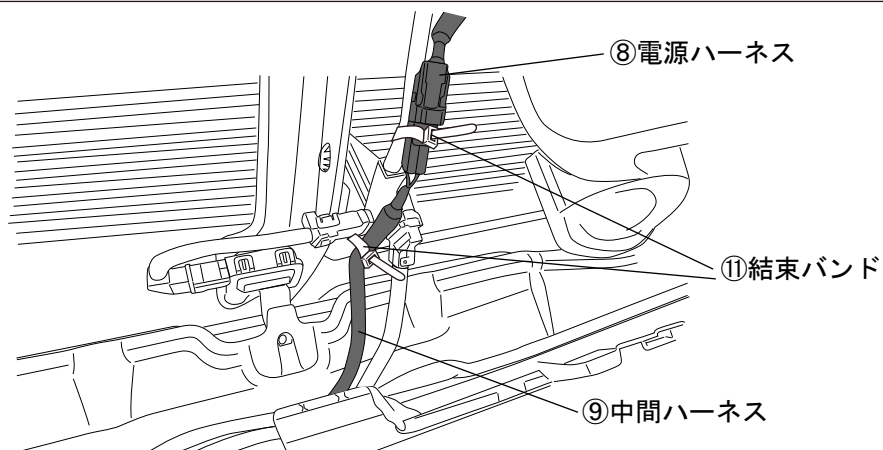


△注意

⑨中間ハーネスを固定する場合、車両ハーネスの上部を通る様に固定して下さい。

1. 図24のように⑨中間ハーネスを配策し⑪結束バンドにて固定する。(固定9箇所)

図25



【重要】ラジエターキャップのゆるみに注意してください。

2. 配策を行ったフロントバンパーを車両へ仮保持状態にし、図25のように⑧電源ハーネスのコネクターと⑨中間ハーネスのコネクターを接続し⑪結束バンドにて固定する。(固定2箇所)
3. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを車両へ復元する。

■ シグネチャーイルミブレード取り付け後の確認・注意事項

- 1 バッテリーのマイナス端子を取り付ける。
 - ・ ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
 - ・ イグニッションONの状態にしてランプの点灯確認を行う。

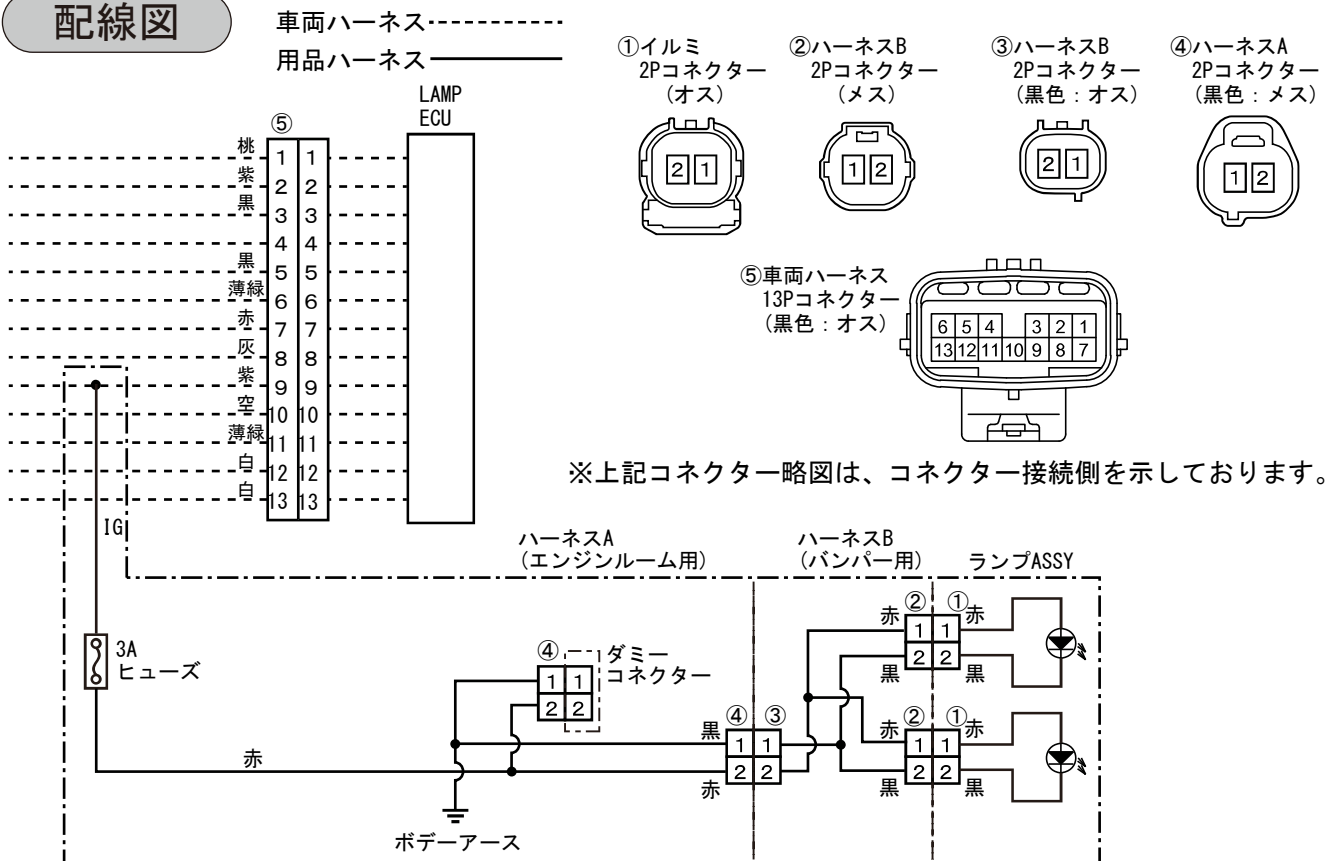
■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びシグネチャーイルミブレード廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
4. 作業終了後は各システムの設定・確認を行ってください。
（車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定/作業」を参照）

⚠ 重要

分解・脱着した部位以外でも、周辺部品にふれて、ラジエターキャップのゆるみや周辺部品の変形などが発生することがあります。 作業後は必ず、確認を行なってください。

配線図



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
モデリスタ商品問い合わせ窓口
TEL: 050-3161-1000
<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

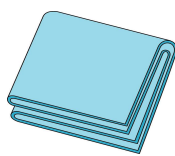


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



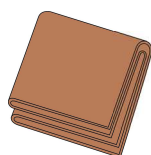
合成セーム皮



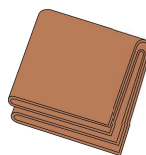
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

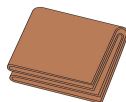


水拭き用バケツ



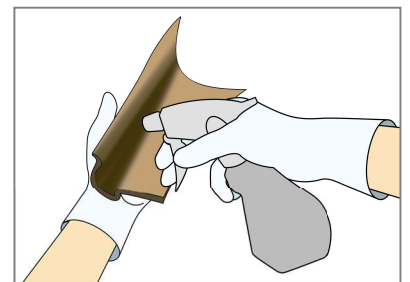
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

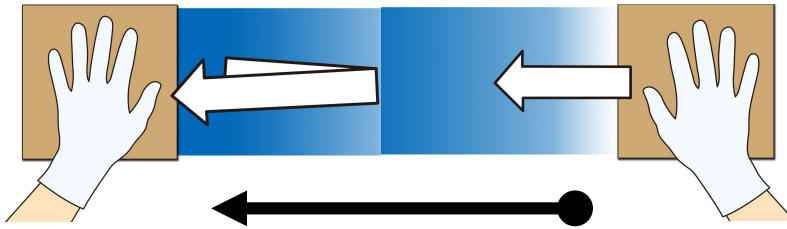
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

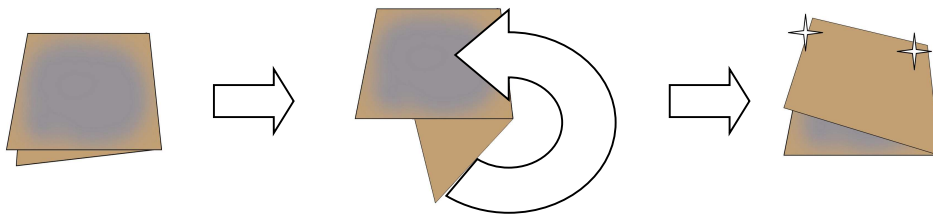
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。